

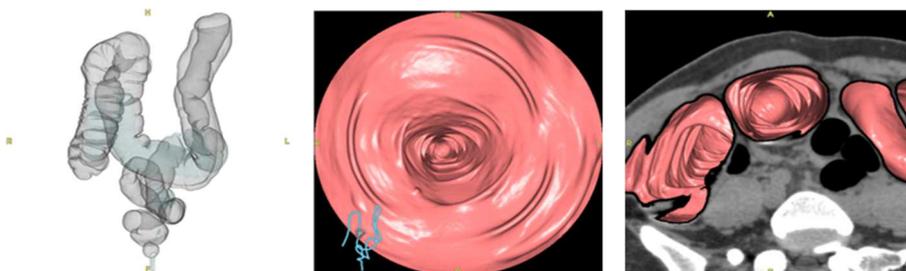
大腸 CT 検査ってどんな検査？

大腸 CT 検査とは

実際に内視鏡を大腸の中に入れてことなく、炭酸ガスを肛門から大腸へ注入し、CT 装置で撮影された画像をコンピューター処理し、大腸を調べる検査です。内視鏡検査やバリウム検査と比較すると、負担も少なく、安全に大腸を調べることができます。

大腸 CT 検査では 5mm 以上のポリープやがんなどを 80%以上発見することができます。ただし、内視鏡検査と比較して、検査時に細胞を取ることや、ポリープ切除は行えません。

また、大腸（腹部～骨盤腔）を CT 撮影するため、他の臓器（肝臓、胆嚢、膵臓など）の病気を発見することもできます。



大腸 CT 検査を受診される方へ

当施設では、精密検査の対象となった方等、後日病院に受診される際に画像を必要とされる場合は画像データ (CD-R) をお渡しすることも可能です。

また、希望される方には、医師による結果説明も実施しております。

検査を受けるにあたって

- 妊娠中の方、妊娠の可能性のある方、人工肛門を装着されているかた、腸閉塞・腸捻転・消化管穿孔の既往のあるかた、
上記に当てはまる方は受診できません、事前にお申し付けください。
- ICD を装着されているかた
部位によっては検査が出来ない場合があります。

